

人間発達学専攻

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシー達成のため、以下の講義科目、演習科目並びに特別研究を置き、学位論文を課す。括弧内はそれぞれのカリキュラム・ポリシーが対応するディプロマ・ポリシーを示す。

- CP1 自らの専門分野だけでなく、その隣接分野の科目を履修することにより、人間生活や人間の発達に関わる幅広い、また実践的な知見を得ることのできる科目を置く。
(DP 1、DP 5)
- CP2 大きく3つに分かれた「発達教育論」、「人体発達基礎論」、「栄養・保健学」それぞれの分野で、人間生活・人間発達についての科学的及び実践的な研究となるよう指導する。(DP 2、DP 3、DP 4、DP 6)
- CP3 人間発達学に関する自らの専門分野の研究を意欲的に進めながら、現代の社会的変化、学術的発展、高度な技術革新に対する興味・関心を持ち、それらに対応する態度を育てる。(DP 2、DP 3、DP 4、DP 5、DP 6)
- CP4 人間発達学研究に関する専門知識をベースとしながら独自の研究を展開するために、創造力、応用力、表現力を持つため少人数、グループディスカッション、共同研究を取り入れた授業を行う。(DP 1、DP 2、DP 3、DP 4、DP 5、DP 6)